

アルパイン
ドライブレコーダー（フロント/リア 2カメラ）

ここでの説明は、車両部品の取り外し、ドライブレコーダーの取付位置の説明に限らせていただきます。
各製品の取り扱い、製品付属の取扱説明書をご確認ください。
取り付けの際は、製品付属の取付説明書に記載されている注意事項を必ずお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。

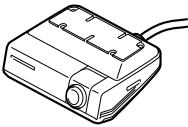
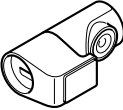
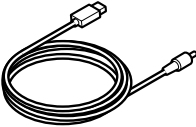
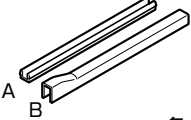
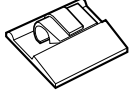
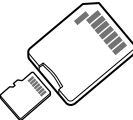
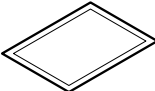
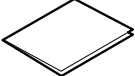
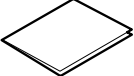
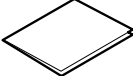
※取り付け作業の前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。

【標準装着時間：1.5H】 ※左記は目安となります。取り付ける車両のタイプ・装備状況によって異なる場合があります。

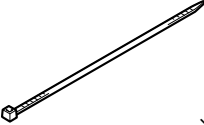
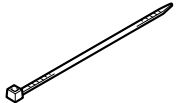
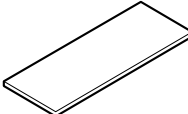
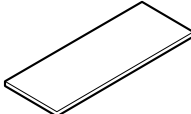
1	目次
1.	目次 1
2.	必要工具 1
3.	構成部品 2
4.	接続図 3
5.	取付要領 6
1.	ドライブレコーダー本体の取り付け 6
2.	リアカメラ本体の取り付け 10
3.	電源コードの配線 12
4.	車両部品の復元/動作確認 12

2	必要工具	※下記は例です。取り付ける車種や取付位置によって必要な工具は異なります。
プラスドライバー、マイナスドライバー、クリップはずし、10・14・17mm レンチ、プライヤー、カッターナイフ、はさみ、ニッパー、マスキングテープ、定規、保護手袋（軍手など）		

■ドライブレコーダー

ドライブレコーダー本体	電源コード	リアカメラ本体	リアカメラ接続ケーブル(2.5m)	リアカメラ延長ケーブル(6m)
 × 1	 × 1	 × 1	 × 1	 × 1
ケーブルカバー(ガイドA/B)	ケーブルホルダー	microSDカード(32GB) SDカードアダプター	クリーナー	ステッカー
 各 × 1	 × 1	 各 × 1	 × 1	 × 1
取扱説明書	取付説明書 (共通編)	取付説明書 (車種別編)	保証書	
 × 1	 × 1	 各 × 1	 × 1	

■KTD-ナビAccessory

タイラップ (200mm)	タイラップ (150mm)	タイラップ (100mm)	クッションテープ(75mm×250mm)	クッションテープ(75mm×250mm)
 × 5	 × 10	 × 10	 × 1	 × 5

(誤接続を防ぐために、接続することに に ✓ 点をつけてください)

＜ナビゲーション本体背面＞

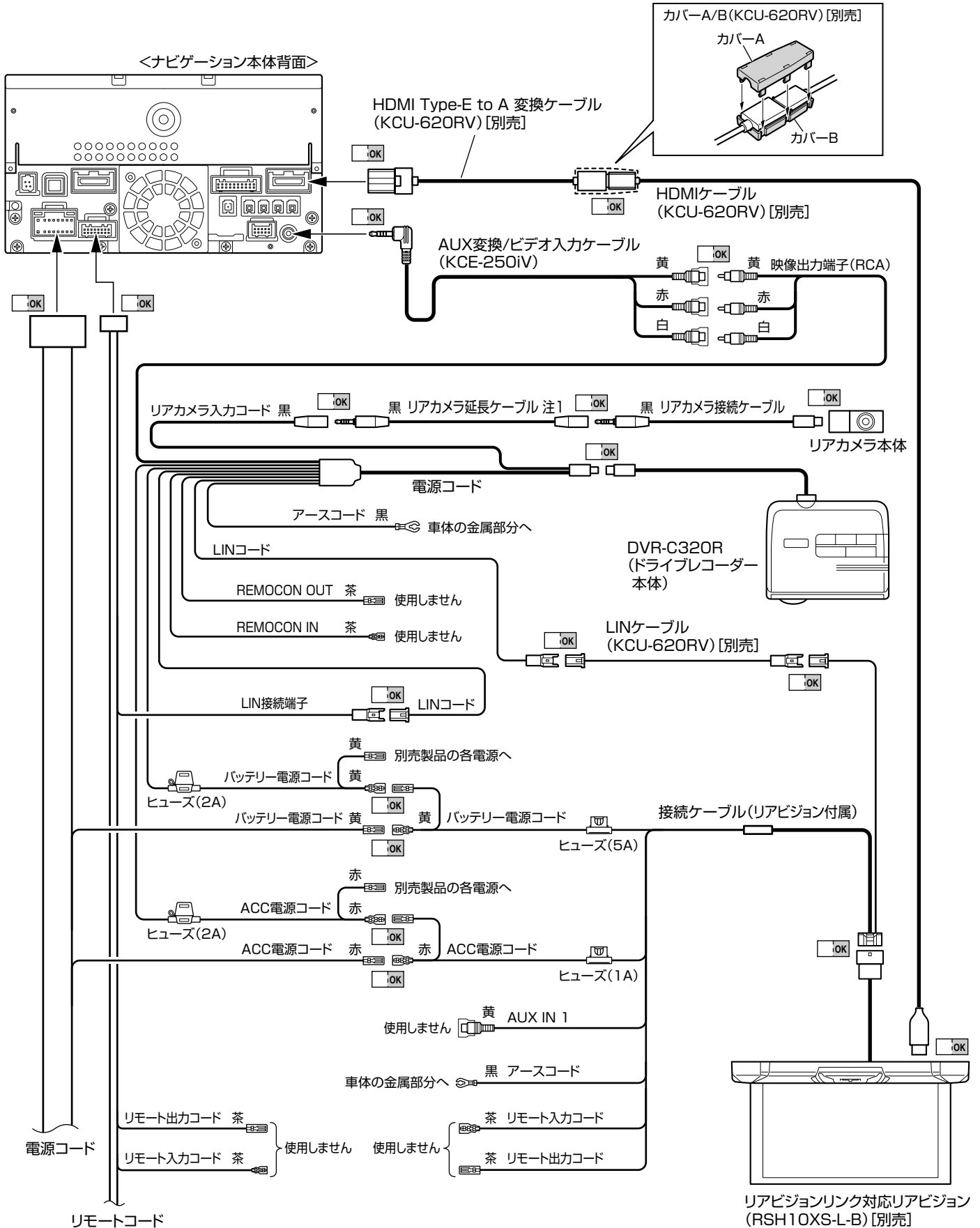


- 3 -

■基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続することに ☐ OK に ✓ 点をつけてください)

(アルパイン製 LIN 接続対応リアビジョンと同時接続する場合)



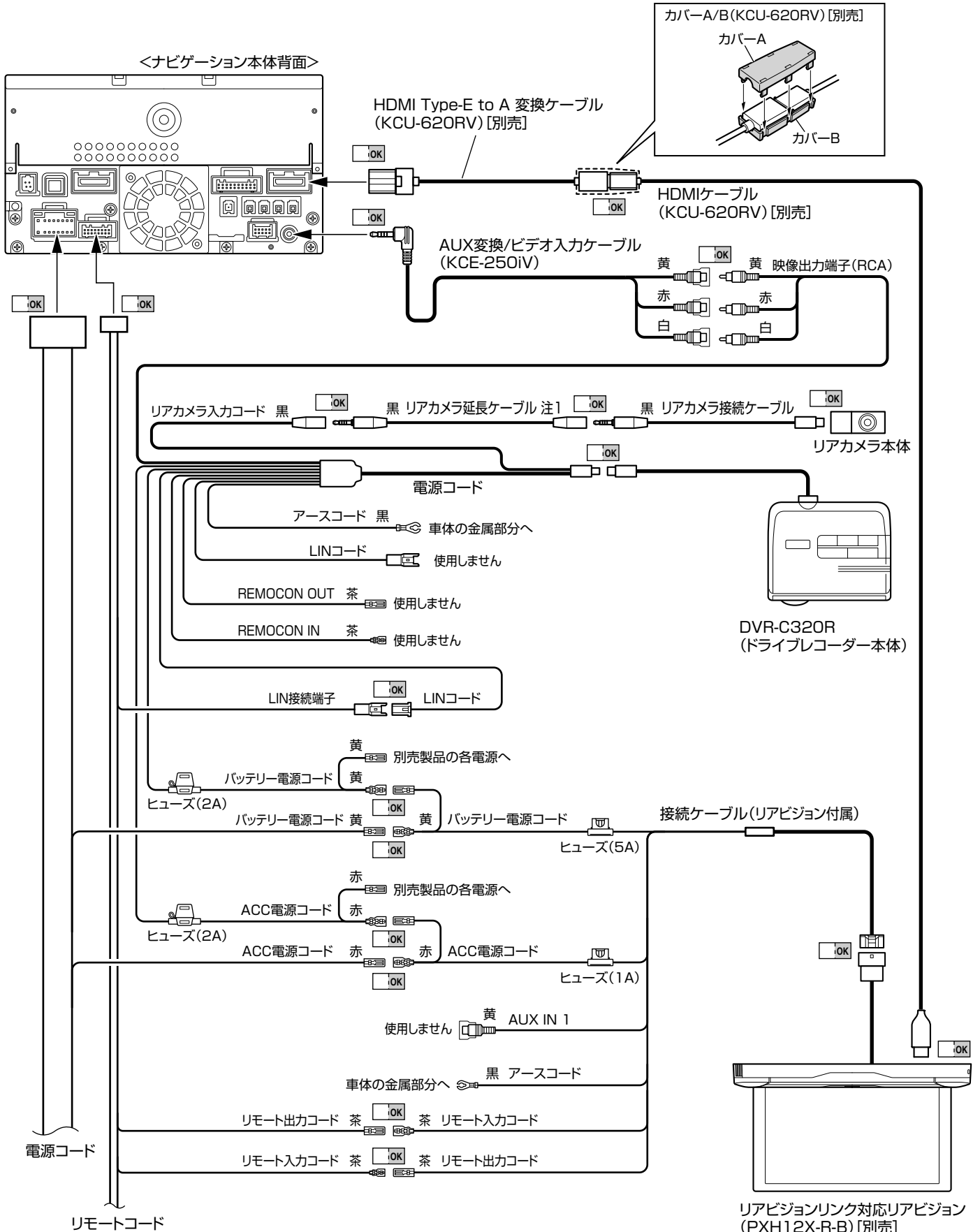
注1.リアカメラ延長ケーブルはリアカメラ接続ケーブルの長さが足りない時のみ使用します。

※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

■基本接続図

(誤接続を防ぐために、接続することに ☐ OK に ✓ 点をつけてください)

(アルパイン製 LIN 接続非対応リアビジョンと同時接続する場合)

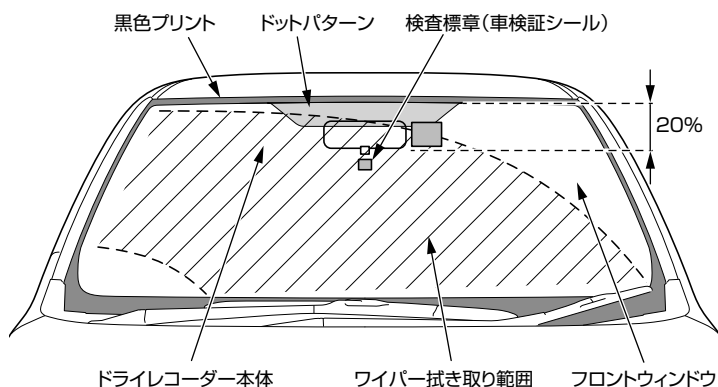


注1.リアカメラ延長ケーブルはリアカメラ接続ケーブルの長さが足りない時のみ使用します。

※配線の仕様は予告なく変更することがあります。

1. ドライブレコーダー本体の取り付け

<フロントウィンドウの室外側>



■ドライブレコーダー本体の取付位置について

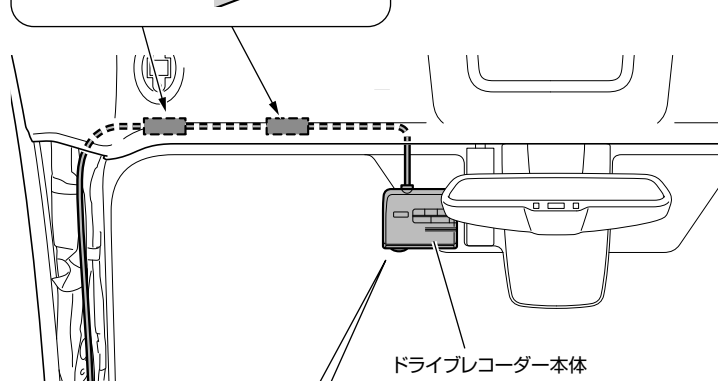
1. 左図と下記の注意を参照して、本製品の取付位置を決定します。

⚠ 注意

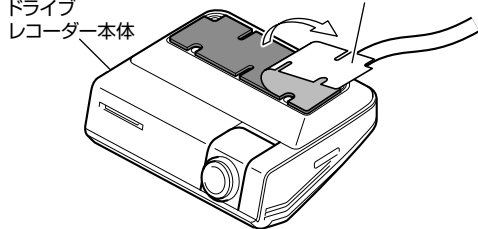
- 運転者の視界を妨げない位置に取り付けてください。
- 車両の前方が全て撮影できる位置に取り付けてください。
- ドライブレコーダー本体のカメラ部分ができるだけ車両の中心近くになるように取り付けてください。
- 他のアンテナなどからできるだけ離して取り付けてください。
- ドライブレコーダー本体のカメラ部分がワイパーのふき取り範囲内に入る位置へ取り付けてください。
- ドライブレコーダー本体の画像にセラムミックライン（黒ドット）や検査標章（車検証シールなど）が映り込まないように取り付けてください。
- フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

<フロントウィンドウの室内側>

クッションテープを巻いて
ルーファイニング内に
押し込んでください。

ドライブ
レコーダー本体

剥離紙を剥がします。



■ドライブレコーダー本体の取り付け

下記はあくまでも取付方法の一例です。取り付ける車両によってドライブレコーダー本体の固定場所・配線を引き回す経路は異なります。

1. ドライブレコーダー本体の取り付け位置を決めたらドライブレコーダー本体をフロントウィンドウの室内側に貼り付けます。

⚠ 注意

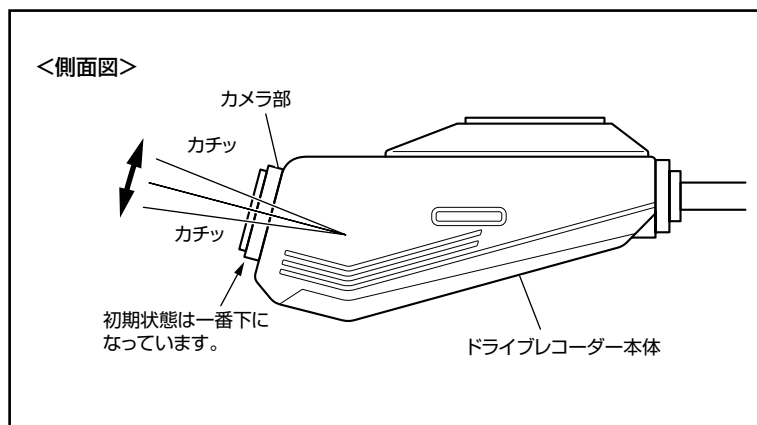
- フロントウィンドウの貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- フロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

2. ドライブレコーダー本体のカメラレンズから保護フィルムを剥がします。

3. ドライブレコーダー本体のケーブルにクッションテープを巻いてルーファイニング内に押し込みます。

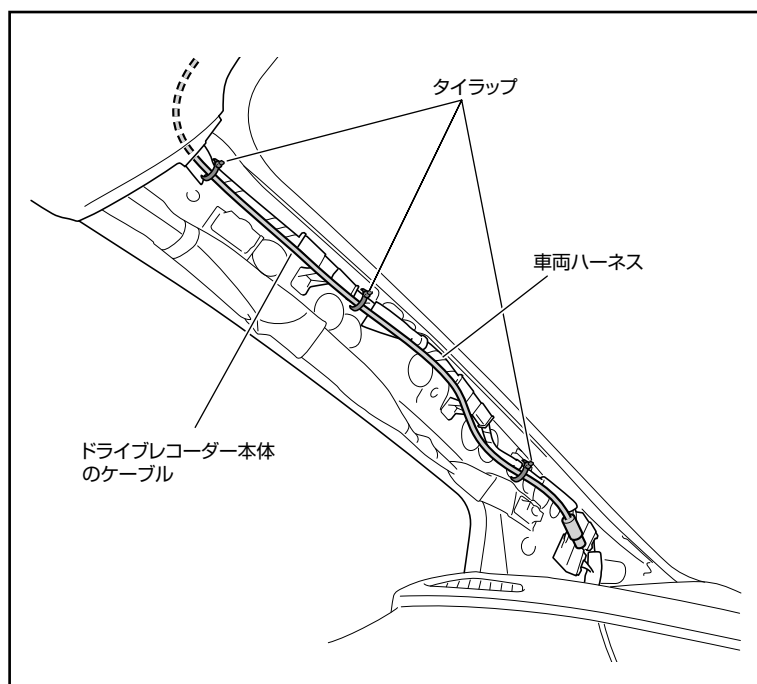


クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。



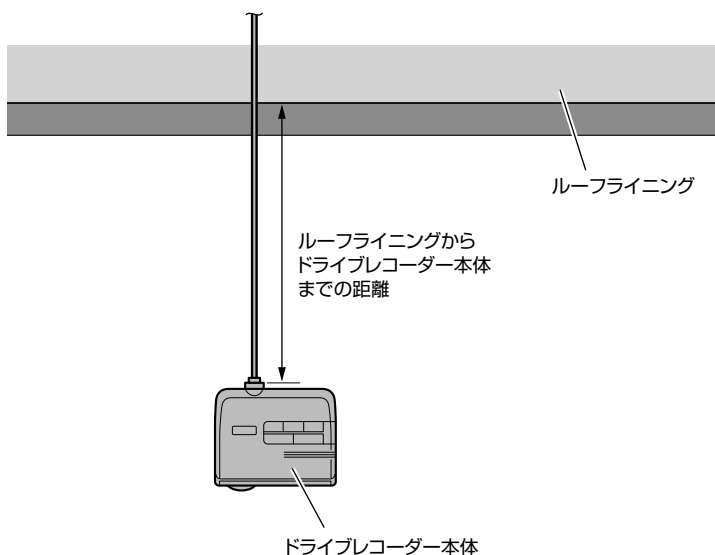
4. ドライブレコーダー本体のカメラの角度を車両に合わせて設定します。

 Memo	取付後に画像をナビゲーションの画面にて確認し、カメラの角度を調整してください。
--	--



5. ドライブレコーダー本体のケーブルを助手席側Aピラーの車両ハーネスに沿って配線し、タイラップで固定します。

<フロントウィンドウの室内側>



■ケーブルカバーの取り付けについて

フロントガラスの端からドライブレコーダー本体の取り付け位置が離れておりケーブルの露出が気になる場合は同梱のケーブルカバーを取り付けてください。

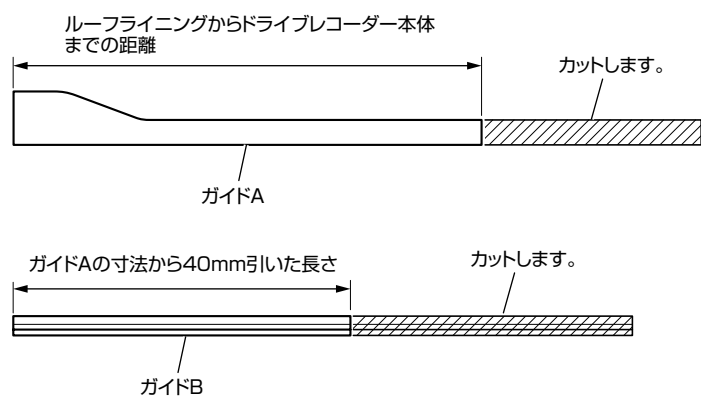
1. ドライブレコーダー本体を貼り付けたらルーフライニングからドライブレコーダー本体までの距離を測ります。

2. 左図を参照してケーブルカバー（ガイドA/B）をカットします。



注意 保護手袋（軍手など）を着用し、刃物の取扱いに注意してください。

<側面図>

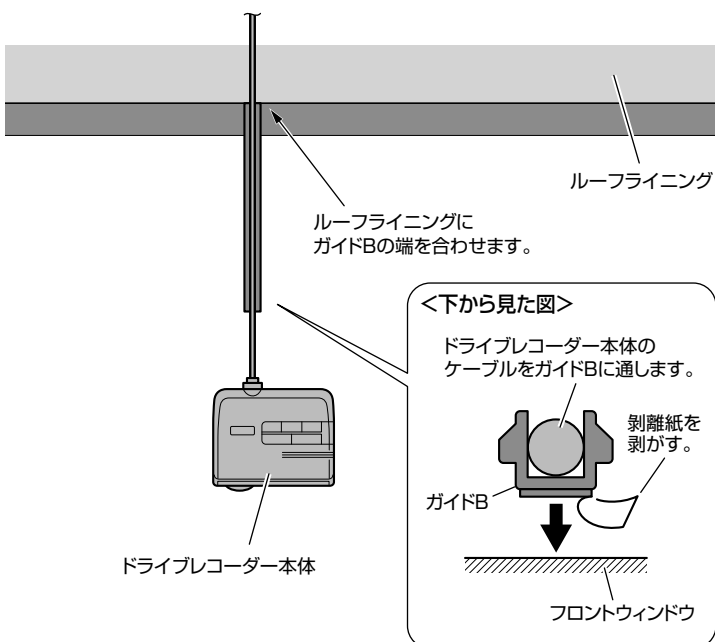


3. 左図を参照してガイドBを貼り付けます。



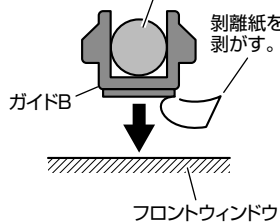
●フロントウィンドウの貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
●フロントウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

<フロントウィンドウの室内側>

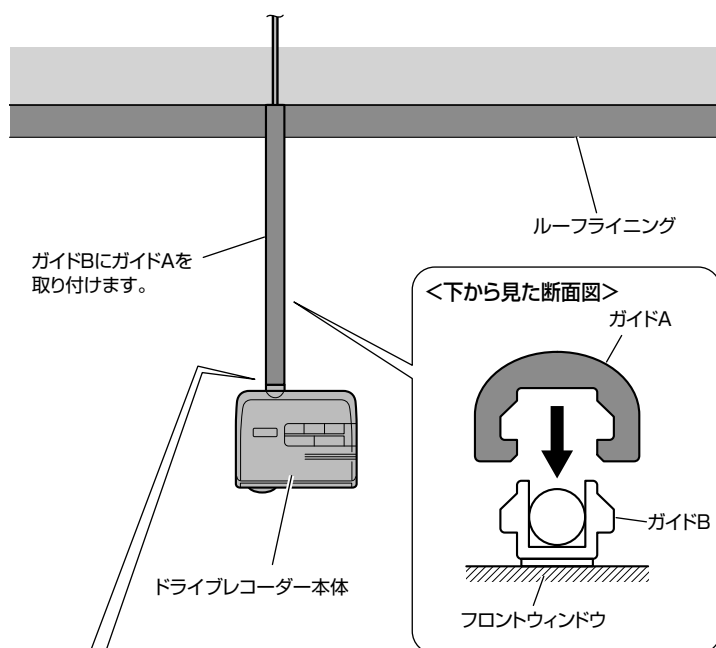


<下から見た図>

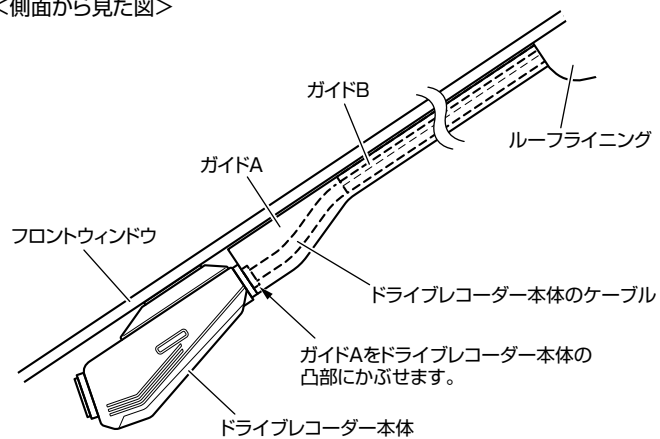
ドライブレコーダー本体のケーブルをガイドBに通します。



<フロントウィンドウの室内側>



<側面から見た図>



4. ガイドBにガイドAを取り付けます。

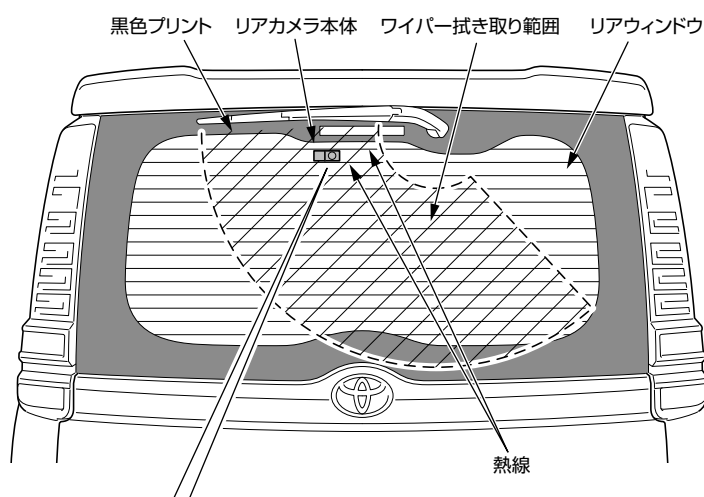


注意

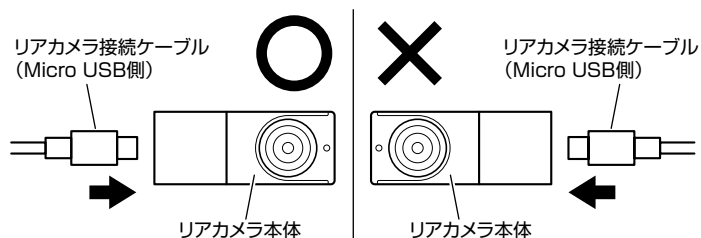
ガイドAがガイドBにしっかりと固定されていることを確認してください。

2. リアカメラ本体の取り付け

<リアウィンドウの室外側>



リアカメラ本体はリアウィンドウの室外側から見てリアカメラケーブル (Micro USB側) が左側になるように取り付けてください。
(逆向きに取付けた場合、リヤカメラ本体の映像が上下逆になります。)



<リアウィンドウの室外側から見た図>

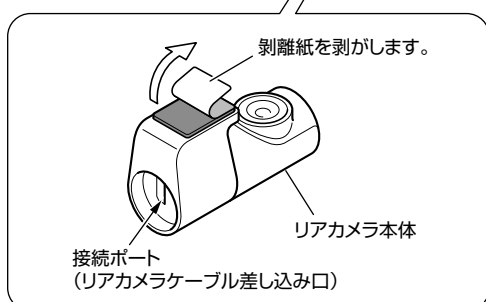
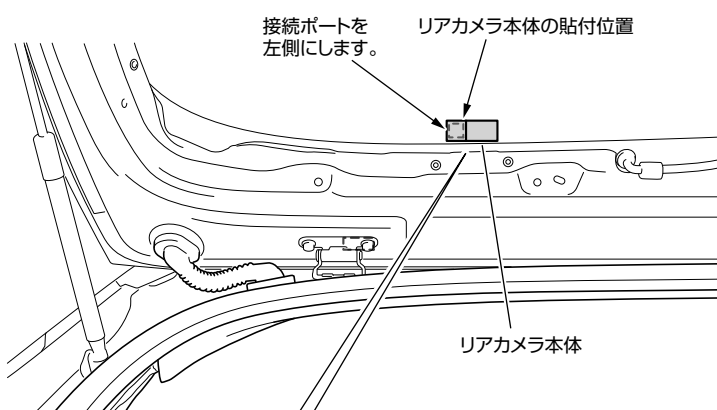
■リアカメラ本体の取付位置について

1. 左図と下記の注意を参照して、本製品の取付位置を選定します。

⚠ 注意

- リアカメラ本体は車両の外側から見てリヤカメラ接続ケーブル (Micro USB側) が左側になるように取り付けてください。(逆向きに取付けた場合、リヤカメラの映像が上下逆になります)
- リアカメラ本体のカメラ部分ができるだけ車両の中心近くになるように取り付けてください。
- リアカメラ本体のカメラ部分がワイパーのふき取り範囲内に入る位置へ取り付けてください。
- リアカメラ本体の画像にセラミックライン (黒ドット) が映り込まないように取り付けてください。
- リアカメラ本体はリアガラスの熱線の無い位置に取り付けください。

<リアウィンドウの室内側>



■リアカメラ本体の取り付け

下記はあくまでも取付方法の一例です。取り付ける車両によってリアカメラ本体の固定場所・配線を引き回す経路は異なります。

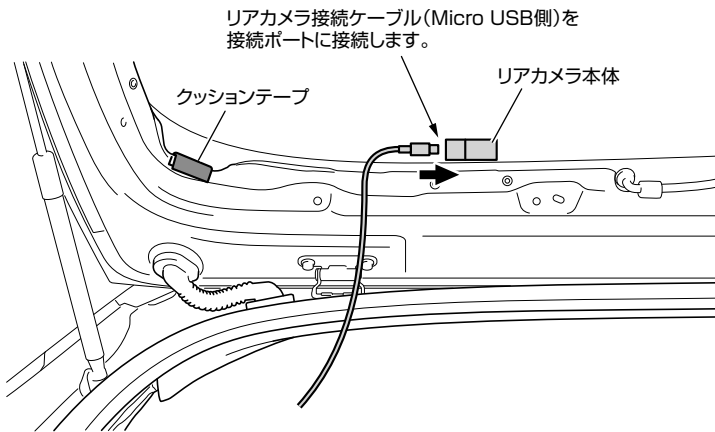
1. リアカメラ本体の貼付位置を決めたらリアカメラ本体をフロントウィンドウの室内側に貼り付けます。

⚠ 注意

- リアウィンドウの貼付面の汚れ、油分、ゴミなどを完全に取り除いてから貼り付けてください。
- リアカメラの向きに注意して貼り付けてください。
- リアウィンドウに貼り付くと、貼り直しができないので注意してください。

2. リアカメラ本体のレンズから保護フィルムを剥がします。

<リアウィンドウの室内側>

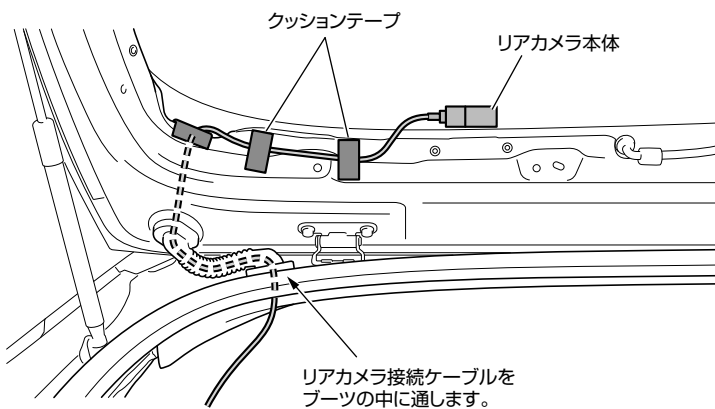


3. リアカメラ接続ケーブルをリアカメラ本体の接続ポートに接続します。
4. バックドアのエッジ部にクッションテープを貼り、ケーブルを保護します。



Memo クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

<リアウィンドウの室内側>



5. リアカメラ接続ケーブルをバックドア上部に配線し、クッションテープで固定します。



Memo クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

6. リアカメラ接続ケーブルをブーツの中に通します。

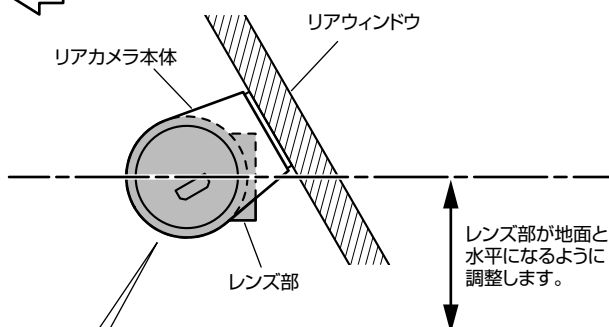


注意

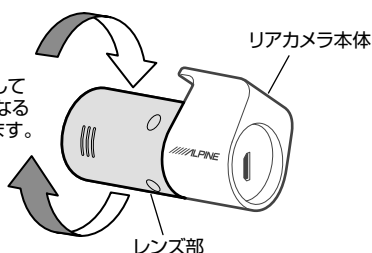
- ルーフライニングにしわが出来ない様に注意してください。
- ケーブルを通す際、ブーツを破損させない様に注意してください。

7. リアカメラ接続ケーブルを車両前方まで引き回します。(リアカメラ接続ケーブルが届かない場合は同梱のリアカメラ延長ケーブルを使用してください。)

<リアウィンドウを左側から見た図>



レンズ部を回して地面と水平になるように調整します。

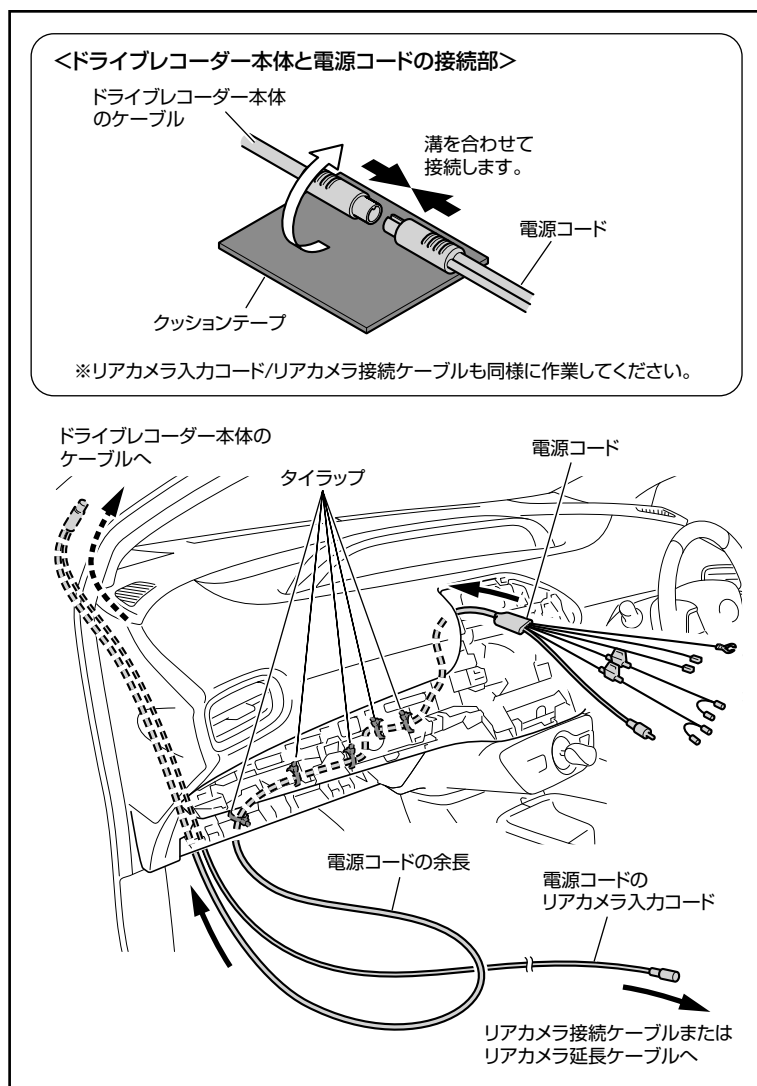


8. リアカメラ本体のレンズ部を回してレンズの向きが地面に対してほぼ平行になるように調整してください。



Memo ドライブレコーダの交通安全警告機能については常時録画をしながら数分間走行する事で自動的に感度調整されます。詳しくはドライブレコーダーの取扱説明書を参照ください。

3. 電源コードの配線



■電源コードの配線

下記はあくまでも取付方法の一例です。取り付ける車両によって電源コードの固定場所・配線を引き回す経路は異なります。

1. 電源コードをオーディオ取付部からグローブボックス部まで配線し、タイラップで固定します。
2. 左図を参照して、ドライブレコーダー本体のケーブルと電源コードを接続してクッションテープを巻きます。



Memo

クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

3. 左図を参照して、電源コードのリアカメラ入力コードとリアカメラ接続ケーブル（またはリアカメラ延長ケーブル）を接続してクッションテープを巻きます。



Memo

クッションテープは必要な長さにカットして使用してください。

4. 車両部品の復元/動作確認

■車両部品の復元

1. 取り外した車両部品を元通りに復元します。



注意

ケーブル類を挟み込まないようにしてください。

■動作確認

1. ナビゲーション側を以下の手順で操作してドライブレコーダーの画像が表示されるか確認してください。

♪(AUDIO)スイッチ▶ **ドライブレコーダー**



Memo

オーディオメニューで「ドライブレコーダー」が表示されない（「外部入力」と表示されている場合）は基本接続図（P3～5）を参照してLINケーブルが正しく接続されているか確認してください。